

いちめんのなのはな

令和2年9月7日(月)
こうちよう すず き まこと
校長 鈴木 誠

岡崎市小学校水泳大会(分散記録会)

- 8月29日(土) -

市内における小学校の大会が水泳大会で幕を開けました。保護者の皆様には、お子さんの会場への送り迎えなどで大会運営に御協力をいただきました。ありがとうございました。おかげで、子供たちは大会という舞台上で緊張感を味わい、他校の児童と競い、自己ベストを更新するなど、全力を尽くしました。

開催が危ぶまれた時期もありましたが、分散記録会という形をとる等の新型コロナウイルス感染予防に加えて、熱中症予防にも配慮しながらの運営により、無事に実施することができました。市教委の御指導や会場校である六ツ美北部小学校の御尽力に感謝いたします。また、引率だけでなく、本校からも顧問の先生方が役員として参加し、酷暑の中、大会を運営しました。大会に携わる、こうしたお一人お一人の御努力に心より感謝いたします。



授業研究会

「新学習指導要領が目指す算数科の授業づくり」

- 8月31日(月) -

岡崎女子大学子ども教育学部子ども教育学科長で学校教育コース長である蜂須賀教授を講師にお招きして、「新学習指導要領が目指す算数科の授業づくり」をテーマに、4の1の算数科の授業実践をもとに先生たちの研修会を行いました。教授の研究室に足を運んで得た助言をいかし、石川先生は子供たちの発言を切り返して思考を焦点化するようにがんばりました。子供たちはそれに応えて、何十で割るわり算の仕方についての理解を深めました。講師の蜂須賀教授は、子供たちの思考を支援した「10円玉の模型」(およそ400枚!石川先生とたまたま職員室にいた先生が皆で手伝った賜物!)や、授業を見通す段階での言葉の式による確認、個別支援、学びの定着に寄与した練習問題の扱い等を褒めながら、今後の授業実践への指針を示してくださいました。あわせて黒板の使い方についても、具体的な御助言をいただきました。翌日からさっそく研修を反映させる先生の姿があり、うれしく思いました。夏休みから授業計画と準備に勤しんだ石川先生に感謝します。

部活動見学 - 4年生 9/1(火),2(水),4(金) -

4年生が部活動見学を行いました。これから2年間取り組む活動を決める大切な活動です。4年生ははじめと終わりに、丁寧に挨拶しました。そして、真剣なまなざしが先輩たちの練習に注がれました。また、見られる5、6年生も真剣でした。部活動を選ぶだけでなく、上級生を見直したり、下級生の礼儀正しい姿を目にしたりするなど、互いを見直し合う貴重な機会にもなったようです。



秋に学ぶ

まだまだ暑い日が続きますが、朝夕には秋が近づいていることを感じさせるときもあり、季節は確実にめぐっています。私事ですが、蚊に刺されることが増えてきました。蚊にとっても活動しやすい気温等になってきたということではと思っています。

学校でも「秋に学ぶ」活動が展開されています。



3年生・理科「花がさいたあと」8/31

1年生は、夏休みの間家で育ててきたアサガオを観察しました。葉や茎が枯れた様子や種のでき方を記録し、種を採取しました。「こんなにたくさんとれたよ」と嬉しそうに種を見せてくれる子供たちに、これまで世話をしてきた達成感を感じました。

3年生は、ヒマワリを観察しました。担任の先生の指導もあり、子供たちは、種だけでなく葉や茎にも目を向けることができていました。



1年生・生活科「あきと なかよし」9/1

防災食について学ぶ

- 「防災の日」の給食 9月1日（火） -

「防災の日」であるこの日、給食に非常用給食が供されました。これは、給食センターが備蓄している非常食を食べることで、子供たちが非常食についての理解を深めたり防災対策の必要性についての認識を深めたりすることを目標にしたものです。献立は

- ・救給カレー（米飯込みレトルトパウチ）
- ・魚肉ソーセージ
- ・かんパン

でした。

子供たちからは、「思ったよりおいしい」「野菜がたくさん」「ご飯が少し硬い」「これなら毎日でも食べられる」「かんパンが思ったより柔らかくて食べやすい」「ソーセージが簡単にむけた」等の感想が聞かれました。

御家庭でも非常食の給食をきっかけに、防災対策について話されてはいかがでしょうか。



きれいに開けたり食べたりも避難生活では大切



ALTと楽しく

- 1年生 外国語活動 9月3日（木） -

1年生は隔週で、ALTのオスカー先生と外国語活動に取り組んでいます。この日は、じゃんけんで駒を進める「すごろく」を楽しみました。

「ロック・シザー・ペーパー・1（ワン）・2（ツー）・3（スリー）」とリズムに乗って笑顔があふれました。休み時間に積極的に子供たちとふれあうオスカー先生の、明るく子供の主体性を尊重する姿勢のおかげでしょうか、どの子も英語に親しみ、心の底からじゃんけんやすごろくを楽しんでいました。